

説 教

元旦・聖日礼拝 北浜チャーチ
黒田 禎一郎

2023年1月1日（日）

主 題：「人生で受ける最高の祝福」
—アロンの祝祷—

テキスト：民数記6章23～27節

はじめに

- ・ 2023年という新しい年を迎えました。
本年が愛する皆様にとって、さらに神の祝福にあずかる年となりますようお願いしています。
- ・ さて、今年は元旦とクリスチャンにとって大切な聖日が同じ日となり重なりました。それは幸いです。一年の初めに、私たちは「人生で受ける最高の祝福」について考えてみましょう。
- ・ 祝福は高位にある人が、下位にある人に向けて与えるものです。
例えば、米国大統領には「恩赦」という特権があります。大統領の一言で、罪ある人の罪が赦免されるのです。そこには多くの場合、政治的背景もあるようです。
- ・ しかし聖書が教える祝福は、地上で人が受けるレベルの祝福ではありません。天地を創造された神が与えてくださるところの祝福です。それは、一体どのような祝福でしょうか。
- ・ ところで、一般的にキリスト教会の礼拝において、牧師は最後に祝福の言葉を宣言します（祝祷）。私たちは祝祷を、どのように受け止めているのでしょうか。礼拝が終わる合図ぐらいに、考えてはいないのでしょうか。いいえ、そうではありません。
- ・ 北浜チャーチの礼拝の祝祷は、教会が始まって以来「アロンの祈り」を祝祷としてきました。それは神がお与えくださる最高の祝福であります。
今年の元旦礼拝で、私はこの「アロンの祈り」を取り上げたいと思います。

大切なポイント

1. イスラエルが受ける祝福

1) 民数記6章

6:24 『主があなたを祝福し、あなたを守られますように。』

6:25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。

6:26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。』

- ・皆さんはご存じのように、アロンはモーセの実兄で祭司でした。イスラエルの民と、神との間に立ち、仲介者としての働きをしました。聖書ではこの「アロンの祈り」が、イスラエルの民が受けた一番はじめの「祝祷」と言われます。

- ・神は次のように仰せられました。

6:23 「アロンとその子らに告げて言え。あなたがたはイスラエル人をこのように祝福して言いなさい。

興味深い点は、主である神がイスラエル人を「祝福しなさい」（すべき）と言われたことです。

- ・祝福とは、何でしょうか……。祝福という言葉には、いろんな定義があると思います。しかしヘブル語の原意は、「神がかがんで、私たちに仕える」という意味です。私は、”「祝福」とは神の恵みの下に置かれること”、であると思います。

2) 「アロンの祝祷」

- ・ところで、「アロンの祝祷」は、三つの部分から構成されています。

① 6:24 『主があなたを祝福し、あなたを守られますように。

ここで、「主があなたを」と単数形で言われました。前節までのところでは、複数形（民）でした。神はあなたに祝福を与えられるお方です。

神の語りかけ、神の祝福はあなたへ個人的に臨むものです。

- ・この表現は、主の守りを意味しています。詩篇 23 篇のように、神は良き羊飼いです。イエスは「わたしは良き羊飼いです。」（ヨハネ 10 : 11）と言われました。ユダヤ教の資料によれば、祭司たちはこの「アロンの祝祷」を神殿において、祭司は日々祈ったと言われます。また今日もユダヤ人たちは会堂において、この「アロンの祝祷」を祝祷としています。

① 6:25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。

- ・主が御顔を太陽の光のように、あなたに照らされるならば、恵みが与えられます。神の恵みは、赦し、あわれみ、霊的賜物、平和、主との交わりなどです。主が御顔をあなたに照らされるならば、神の恵みの下におかれま
- ・詩篇にはそれらの祝福の詩歌が、たくさん歌われています。それらは「ア

ロンの祝祷」への応答とも言えましょう。ここに主である神と、選民イスラエルとの関係を学ぶことができます（つまり神と私たちの関係）。

② 6:26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与られますように。』

- ・主が御顔をあなたに（の上に）向けてくださるなら（パーソナルな視線）、平安が与られます。平安はヘブライ語の原語では、「救い」と言う意味もあります。与えるという言葉は、「物を与える」、「何かをやり遂げる」、「そのように整える」という意味です。
- ・キリストこそ、私たちの平安です。イエスは「わたしは、あなたがたに平安を残します。わたしは、あなたがたにわたしの平安を与えます。」（ヨハネ14：27）と言われました。

- ・このように、「アロンの祝祷」は
⇒ 神の祝福、守り、光・輝き、愛・好意、平安が祈られています。

① 主である神の守り 6:24

② 主があなたに御顔を照らす 6:25

③ 主が平安を与える（個人的視線）。6:26

⇒ 神の祝福は高揚していきます。

- ・これは人間の願望の祈りではなく、神の命令でアロンがおこなった「祝福の祈り」です。つまり神が祝福してくださるという保証付きの祝福の祈りです。
- ・祝福の祈りは、一人一人を祝福する神の言葉です。その祝福の言葉は、個々に与えられ、そこに主の守りがあります。主の祝福のことばは、その通りに成ると受け止めることです。そうでなければ、それは虚しいものになってしまう。

3) メルキゼデクの祝福

- ・ところで、アブラハムはメルキゼデクから祝福を受けました。

へブル人への手紙 7章

7:1 このメルキゼデクは、サレムの王で、すぐれて高い神の祭司でしたが、アブラハムが王たちを打ち破って帰るのを迎えて祝福しました。

- ・このメルキゼデクは、イスラエルの民ではありませんでした。彼はアブラハムから十分の一のささげ物を受けとり、神の約束を受けたアブラハムを祝福しました。祝福を与える人は、祝福を受ける人よりも偉大なはずです。

- ・聖書はこの手紙だけでなく、ほとんどの手紙の書き出しと締めくくりで、祝福を書いています。
- ・皆さん。いかがでしょうか。私たちも手紙の最後に、「あなたの健康をお祈りしています。」と書いたりすることがあります。しかしそう言いながら、その実その人のために祈ってないことがあります。聖書の祝福は、それとは全く違います。
- ・祝福とは、「神がかがんで、私たちに仕える」ことです。
⇒それは、「神の恵みの下に置かれること」です。祝福がそこにあることを宣言するものです。その重みは大きいものです。そう宣言したら、その通りのことがそこに起こるからです。祝福の言葉の重みを、しっかりと受け止める人は幸いです。
- ・私たちは神の祝福がなければ、満足する生活を過ごすことはできません。ほんとうの意味で、人間は神の祝福によってのみ、祝福の生活ができるのです。私たちが毎週、安息日に礼拝のために教会へ集う理由の一つは、神に近づき、神からの祝福をいただくことにあります。
- ・旧約聖書時代、祭司たちは動物の犠牲を捧げることによって、罪人である者が聖い神に近づきました。しかし、メルキゼデクの位に等しい大祭司であるイエス・キリストが来臨されたことによって、神に近づく道が開かれました。イエスは「わたしは道であり、真理であり、いのちです。」と言われました。聖書はここに、真の道、真理、いのちがあると述べています。
- ・ですから、動物の犠牲によるのではなく、神の御子イエス・キリストによって、聖い神に近づくことができるようになりました。なんとという恵みではありませんか。

2. 聖徒が受ける祝福

1) 神が与える祝福

- ・それは私たちを祝福することです。大きく分けて、神の祝福は2つあります。①霊的祝福と②物的祝福のことです。一般的に御利益を求める人は、②の物的祝福を追求します。
- ・聖書はクリスチャン生活には、この二つが必要と教えています。そしてそのバランスが大切です。
- ① 霊的祝福とは、神の恵み、神の愛、神のあわれみなどに触れることです。 ➡ 「アロンの祝福」

② 物的祝福とは、生活で必要とするあらゆる分野で神から受ける祝福です。

『例 話』

- ・米国の企業カウンセラーPaul Mayer(ポール・マイヤー)氏は、「人間はトータルで祝福を受けることが究極的な幸せな姿である。」と言いました。精神、経済、家庭生活、社会生活、などすべての面であります。
- ・聖書は次のように勧めています。
愛する者よ。あなたが、たましいに幸いを得ているようにすべての点でも幸いを得、また健康であるように祈ります。3ヨハネ:2
- ・聖書は、霊的にも物的にもトータルで祝福を受けることを、神が望んでおられると教えています。それには、神が与えてくださる祝福の内に身を置くことです。

2) アブラハムが受けた祝福

- ・アブラハムが神から受けた祝福を思い出してください。神の約束のことばのように、子孫の祝福を受けました。空の星の数のように、浜の砂の数のように増えると(無数)。しかし、妻サラは不妊の女性でした……。人間的には、子どもを宿すことは不可能でした。何が必要であったのでしょうか?
⇒神への信仰(信頼)
- ・神はアブラハムに、土地の約束も与えられました。約束の地(カナン)を与えると言われました。確かに神は、イスラエルの民に約束の土地を与えました。何が必要であったのでしょうか?
⇒神への信仰(信頼)

3) ヨブが受けた祝福

- ・苦しみの人、試練の人、忍耐の人ヨブを思い出してください。彼には7人の息子と3人の娘がいました。しかしその10人の子どもは全員亡くなりました。その時のヨブの言葉は次のようでした。
1:21 そして言った。「私は裸で母の胎から出て来た。また、裸で私はかしこに帰ろう。主は与え、主は取られる。主の御名はほむべきかな。」
1:22 ヨブはこのようになっても罪を犯さず、神に愚痴をこぼさなかった。
- ・彼はその後、無数の試練に出会いました。晩年に彼は何と言ったのでしょうか?
42:2 あなたには、すべてができること、あなたは、どんな計画も成し遂げられることを、私は知りました。
42:12 主はヨブの前の半生よりあとの半生をもっと祝福された。それで彼は

羊一万四千頭、らくだ六千頭、牛一千くびき、雌ろば一千頭を持つことになった。

42:13 また、息子七人、娘三人を持った。

- ・皆さん！ ヨブには何が必要であったでしょうか？

⇒神への信仰（信頼）

- ・聖書は神の祝福に与った人々の生涯を記録しています。私たちも神の祝福に与る者とさせていただこうではありませんか？ 何が必要でしょうか？

⇒神への信仰（信頼）

- ・私たちは神への信仰を持つには、どうすれば良いのでしょうか・・・？

それは人となられた全きお方イエスを、キリスト（救い主）と信頼し、お従いすることです。神を信じ、神のことばに従順であることです。そうすれば、神は祝福をお与えくださいます。それは神のお約束です。私たちは、それを信じているのでしょうか。

- ・神がお与えくださる「アロンの祝祷」は、私たちに祝福を与えるものです。それは平安（Shalom）でもあります

ヘブル語の「平安」（Shalom）には、次のような意味が含まれています。

- 平和（対国、対神、対人）・・・ 和平、和解
- 平安（個人的）・・・ 平穩、無事、安心、安全
- 繁栄（商業）

- 健康（肉体的、精神的）・・・ 健全、成熟
- 充足（生命的）・・・ 満足、生きる意欲
- 知恵（学問的）・・・ 悟り、靈的開眼
- 救い（宗教的）・・・ 暗闇から愛の支配へ
- 勝利（究極的）・・・ 罪と世に対する勝利

- ・2023年、私たちは神から「平安」（「Shalom」）をいただき歩みましょう。

6:27 彼らがわたしの名でイスラエル人のために祈るなら、わたしは彼らを祝福しよう。」

まとめ

主 題：「人生で受ける最高の祝福」

—アロンの祝祷—

- ・今日のテキストでは、完全な大祭司イエスにあって、神を信じる聖徒は人生で最高の祝福に与る者とされることを学びました。そこで次の点を確認しましょう。
 1. 神の祝福は完全な大祭司イエスによって与えられる
 2. 神は信じる聖徒へ霊的・物的祝福を与えられる

- ・神の祝福は、恵みによって与えられます。そこに私たちが神を礼拝する信仰生活があります。

* God bless you!